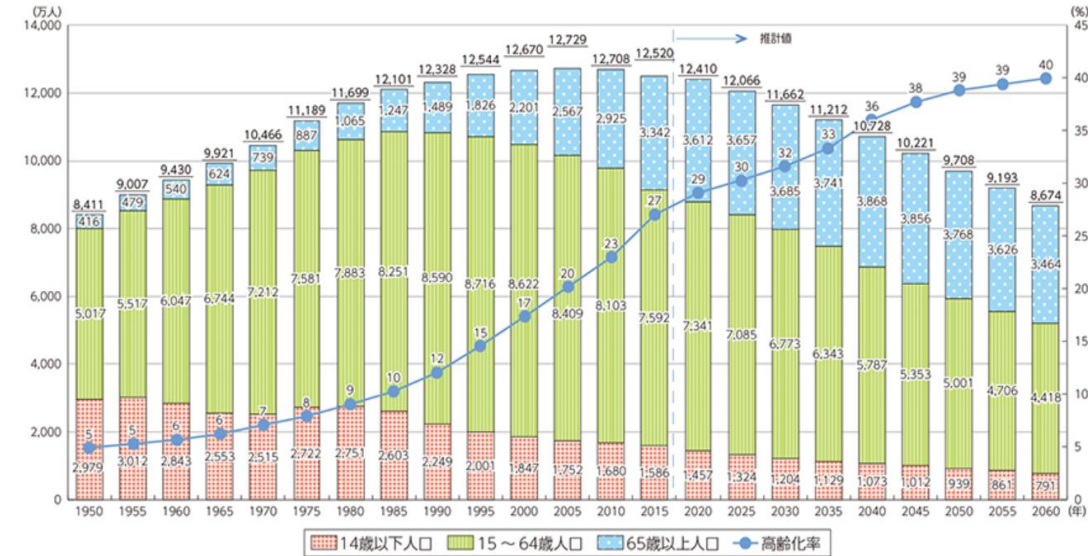


日本のこれからを考える 桑原 敏行

<全体シナリオ>

1. 日本の停滞の大きな原因の一つは人口減少。
2. GDPの増加は、労総生産性の増加×人口の増加
3. 人口が増えない日本は、労働生産性をいかにしてアップさせるかが課題。
4. ところが労働生産性の伸びは過去20年ほぼゼロ。
5. 人口が今後毎年0.8%ずつ減少する日本のGDPは減少せざるを得ず。
6. 今後の市場減少を前提にトヨタは日本国内の販売チャネル・車種数を削減。
7. 海外に子女を雄飛もしくは避難させる個人もあり。
8. しかし抜け出す海外の地を探しても日本よりましな国はなさそう。
9. 沈みゆく日本に居て新たな施策と問題解決にできる限りの策を講ずるしかなさそう。
10. 同時に経済面以外で文化国家になることで世界における存在感アップを探ることになるのか。

我が国の人口の推移



(出典) 2015年までは総務省「国勢調査」(年齢不詳人口を除く)、
2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」
(出生中位・死亡中位推計)

$$GDP = \text{労働生産性 (GDP} \div \text{人口)} \times \text{人口}$$

過去20年伸び率ゼロ

0.8%/年減少

<各論>

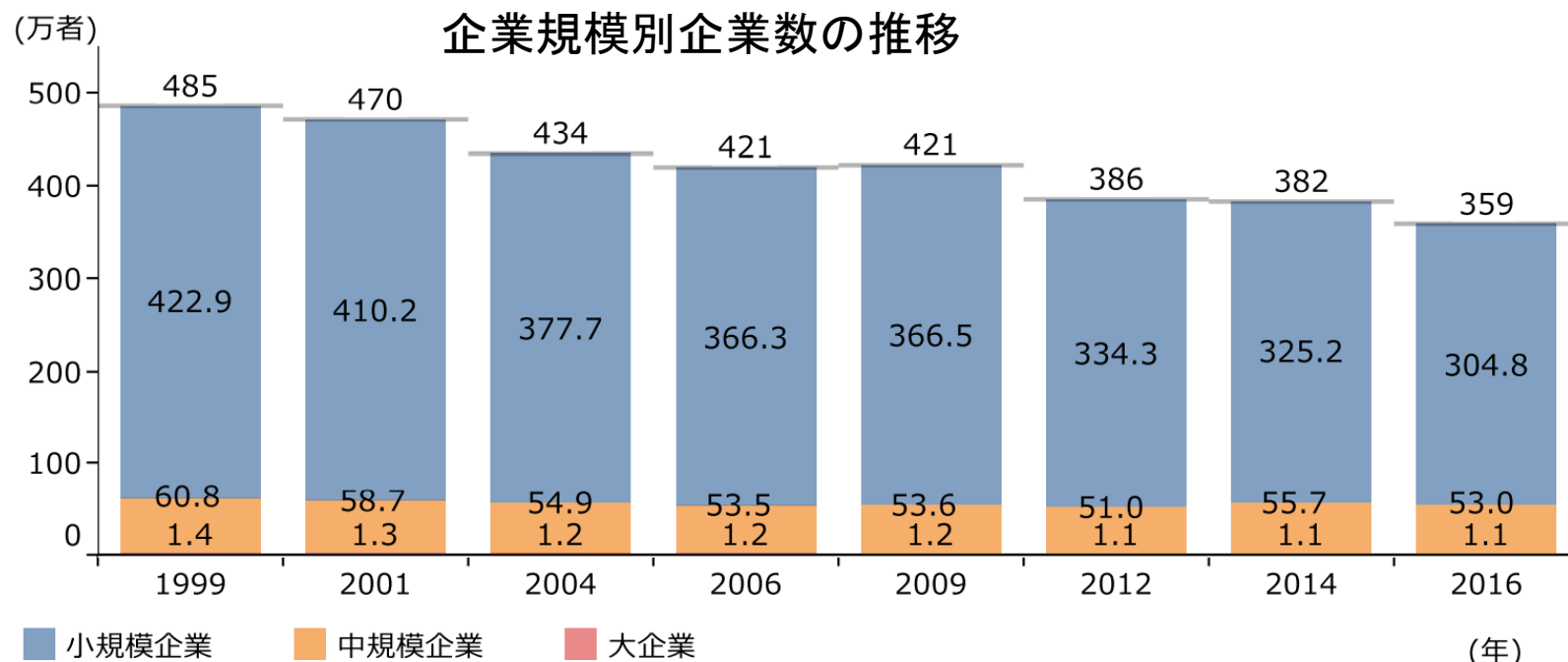
いろいろな解決すべき課題はあるが、今回取り上げたのは身近な問題から次の5点

1. 商店街：凋落の一途。地域一体となった都市作りが解決の道だが、地権者が多く困難。
2. 中小企業：中小企業数は減少傾向。中小企業法の改正とM&Aでの規模拡大が解決策。
3. 既得権益の弊害：私腹を肥やす利得は小さな問題。国の方向を誤らせる既得権益が問題。
4. 縦割り行政：予算執行重視で国民への貢献度が勘案されていない行政の人事評価制度が問題。
5. 偏向報道は何故？：歴史的産物で是正困難。Net情報が救い。個人の判断力が問われる。

1 商店街あたりの空き店舗の平均店舗数
及び平均空き店舗率の推移



出典：平成30年度商店街実態調査(中小企業庁)



出展：総務省「平成11, 13, 16, 18年事業所・企業統計調査」

<今後の検討課題>

以下の項目を今後の調査検討課題としたい。

1. 人口増加のためには何が必要？
2. 日銀の金融政策は正しいのか？
3. DX化推進のためには？
4. 格差拡大解決のためには
5. 労働分配率アップのためには
6. 日本ではどうしてGAFAは生まれない？
7. 起業家マインド育成のためには？
8. どうしてスペースXが民間人で可能か？
9. 素人がどうして簡単に自動車製造ができたのか？ 等々

